

平成 26 年 7 月  
発行：依田窪老人保健施設  
広報編集委員会  
〒386-0603  
小県郡長和町古町 3365-5  
TEL：0268-68-0281  
FAX：0268-68-0283

## 口腔機能向上に向けての個別ケアの実施

### 「通所リハビリテーション」

いこいの通所リハビリテーションでは、前年度より口腔機能向上に向けての個別ケア(口腔ケア)を、看護師、介護員、リハビリ職員等の多職種が協働して実施してきました。

■ 具体的な内容  
まずは、看護師が中心となって、ご利用者ごとの口の中の衛生状態や、食べた飲み込みの機能について、問題点と解決すべき課題を調査します。

次に、それに基づき、多職種で「口腔機能改善管理指導計画書」を作成し、ご利用者、またはご家族に説明し同意をいただきます。

その計画に添って、利用日には毎回、食前に全員で嚥下(えんげ)体操を行います。食後は口腔内の様子や義歯の確認、

ブラッシングの徹底等、口腔清潔保持に職員が一人ずつ関わり、介助や声かけを行っています。また、唾液線(だえきせん)マッサージも重要な要素です。

■ 状態の評価  
ご利用者の口腔機能の状態に応じて、定期的に、ご利用者の生活機能の状況を検討し、口腔機能の状態の評価(モニタリング)をしています。

さらに、自宅でも同様に行えるよう、ご利用者とご家族に指導も行っております。

■ 3ヶ月経過して  
全てのご利用者を対象として口腔ケアに取り組んで、3ヶ月が経過しました。ご利用者からは「やらないと口の中が気持ち悪い、調子が悪い。」と言われるほど、ご利用者一人ひとりの意識にも変化が表れ、口腔ケアの徹底を図ることができております。

■ 口の健康は全身の健康へつながる



食前の嚥下体操  
みんなで大きく口を開け、大きな声を出しています。

個人差はありますが、高齢になると食べ物が噛みにくくなり、飲み込む力が衰える等、口腔機能が低下してきます。また、それによって、細菌が唾液や食物と共に肺に流れ込んで「誤嚥(ごえん)性肺炎」を発症することもあります。口の健康は全身の健康へつながっています。

口腔ケアの実施に当たり、ご利用者にお話をお聞きすると、「食事をおいしく食べたい。」「むせることなく安全に食べたい。」「誤嚥しないようにしたい。」「いつまでもしっかりと噛むことができ、好き嫌いなく食べたい。」「食事をきちんと食べることができ、いつまでも元気でいたい。』と、話されていました。

口腔ケアは、一生おいしく、楽しく、安全に食事をいただき、健康な生活を送るために大切なことであり、実施してからは、ご利用者の意欲も増進しています。今後は、歯科衛生士の指導を受ける等、口腔機能改善の取り組みをいっそう強化してまいります。

## 熱中症・脱水症予防を目的とした「夏期間入所はいかがですか」

今年も猛暑が予想されます。

冷房機器がなく体温調整が十分にできなかつたり、水分補給が不十分なため脱水になられる危険性の高い高齢者の方々に、いこいでは夏期間入所をお勧めしています。

ご入所いただきますと、施設内は快適な温度となっており、こまめな水分補給や栄養バランスのとれた食事の提供、理学・作業療法士による個別リハビリ、看護師による健康チェック等、お一人おひとりにあったケアをご提供させていただきます。

夏期間入所を希望される方は、いこい(電話：68-0281)へご連絡いただくか、担当のケアマネージャーにご相談ください。

### ■ 在宅生活の支援

いこいの入所部門が、平成 25 年 4 月より「在宅強化型老健」に移行したことにより、通所リハビリは、ご利用者が在宅復帰後の在宅生活支援も重要な役割となっております。通所リハビリでは、今までの以上にご利用者の自立機能の維持改善を目的として、リハビリ専門職による個別リハビリを中心に、介護職員による生活リハビリを提供しています。また、多くのレクリエーションや作業、手作り食事・おやつ等、1日を楽しく過ごしていただくメニューも用意してあります。

現在通所リハビリには、長和町、上田市武石地域・丸子地域、立科町より、1日平均約 30 名の方に、ご利用いただいております。利用定員に対して、まだ余裕がありますので、多くの皆様の利用をお待ちしております。

(通所リハビリ)

主任介護員 小林幸代)

私の好きな時間

私がこの仕事をやりたいと思った理由は、子供の頃から人と身近に関われる仕事をしたかったことと、人生の先輩である方々から、たくさんのお話を聞き勉強をしたいと思いますからです。

人生の大先輩であるご利用者は、たくさんのお話を聞いていますし、たくさんのお苦勞や体験をされた方が多くいらっしゃいます。一人ひとり、お苦勞されて来られたことなどは違いますが、私はそういった方々とお話し出来るのは、とても貴重なことだと思っています。私は、毎日ご利用者と少しでも多く会話ができるように、その時間を大切にしています。昔起こった戦争のこと、昔の仕事のこと、お苦勞したこと、その日の天気のこと、テレビで放送されているニュースのこと、長生きの秘訣、好きな食べ物のお話・・・。挙げればきりがありませんが、たくさんお話を聞かせていただきます。時には人生の先輩だからこそ出来るアドバイスをしてもらい、救われた部分もたくさんあります。

私は、ご利用者とお話している時間が大好きです。ご利用者の笑っている顔が大好きです。会話することは、ご利用者のことを知るきっかけにもなります。今後もこのような関わりを大切にケアに活かして行きたいと思っています。

私がいこいに入職して、今年で4年目になります。まだまだ勉強の毎日ですが、これからもたくさんのご利用者が、たくさん笑って生活できるようがんばります。



介護福祉士 櫻井洋子

ご寄付 お礼

次の方よりご寄付をいただきました。略儀ながら紙上をもちまして、厚くお礼申し上げます。

長和町長久保 鳴海さち子様

人事関係

次のとおり人事異動がありました。

● 6月1日付

新規採用 介護員 柳沢 忍

● 6月20日付

異動 理学療法士 町田哲也 (老健↓病院)

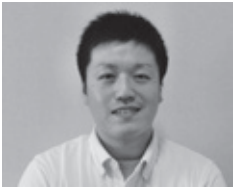
● 7月1日付

新規採用 介護員 中村陽介



柳沢 忍 介護職に初めて就きました。先輩方の指導をひとつずつ身につけて、早く一人前になりたいと思っております。

新入職員のご紹介「よろしくお願ひします。」



中村陽介 早く仕事に慣れ、利用者様にとってより良いサービスを提供できるようがんばります。気軽に声をかけてください。

ふれあい

(平成26年5月～6月までの出来事)

お花見ドライブ (5月1日実施)

「世界中で一番きれいな2週間」と言われる、上田市武石の余里へ花桃見学に行きました。きれいに咲いた花桃を眺めながらお茶を飲み、多くのご利用者から笑顔が見られました。

・ 行事委員 岩波絵里衣 (レク)



長門小学校音楽会鑑賞 (6月21日実施)

9名のご利用者が音楽会に参加されました。子供たちの元気な歌声と、息の合った合奏に皆さん耳を傾け、楽しまれました。(レク・行事委員 掛川悦子)

フラダンスボランティア来所

6月26日、長和町で活躍されておられるフラダンスボランティアの皆様が来所されました。

優美なフラダンスに魅了され、手品の場面では、びっくりして声を上げるご利用者もおられ、楽しい時間を過ごしました。(支援相談員 小林正国)

長門小学校2年生交流会

毎年恒例の交流

会が6月27日に開かれ、2年生の皆さんは、音楽会で発表された合唱やピアノの演奏を披露したり、ご利用者と玉入れや手遊びをいっしょに楽しみ、笑顔あふれる交流会となりました。(支援相談員 小林正国)



『いこい祭り』開催のお知らせ

依田窪病院の病院祭に併せ、いこい祭りを開催します。

◆開催日 10月5日(日)

◆内容

- 1.「在宅復帰・在宅支援」をテーマに、看・介護、リハビリ、栄養関係のブースを設置
2.地域のボランティア・職員による催し物等
大勢の皆様のご来所をお待ちしております。

★編集後記★

今年、新しい試みとして「夏期間入所」の受け入れを行います。多くの皆様のご利用をお待ちしています。また暑い夏がやってきます。熱中症・脱水には十分ご注意ください。こまめな水分補給と、スタミナをつけて猛暑を乗り切ってくださいと思います。(編集委員)